

定例公安委員会の開催状況について

令和5年1月12日（木）に、第1回定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 イノシシの出没に伴う人的被害の発生について

イノシシの出没に伴う人的被害の発生について報告があった。

委員のコメント

- 生息数が増えているイノシシ対策を検討する必要がある。
- 安全なまちづくりを実現するためには、熊に加えてイノシシ対策の広報啓発を進めてほしい。
- 春の山菜採り、秋のきのこ採りなどで山が賑わう時期に備えて、熊とイノシシへの対策を講じてほしい。

2 令和4年刑法犯の認知・検挙状況（暫定値）について

令和4年刑法犯の認知・検挙状況（暫定値）について報告があった。

委員のコメント

- 認知件数減少は良い傾向である。コロナ禍での人流増加により犯罪の発生傾向も変わってくる。増加傾向にある知能犯対策を含め、これからも手を緩めずに対策を講じてほしい。
- 非接触型犯罪対策とともに、若手警察官の育成にも尽力してほしい。
- 検挙率の高さを県民に広くPRして県民の体感治安向上につなげてほしい。取調べ技能と科学捜査技術の伝承を今後も継続してほしい。

3 令和4年中の交通事故発生状況等について

令和4年中の交通事故発生状況等について報告があった。

委員のコメント

- この結果には対策の成果が出ていると評価できる。山形県は車社会の中で車の運転に慣れ過ぎている傾向がある。高齢者が免許返納を躊躇しがちな生活環境の中でいかに交通事故防止を進めるかが課題である。
- 各項目が低水準で推移してきたことは、不断の地道な取組の成果である。今後も高齢者対策に引き続き力を入れてほしい。
- 限られた警察力を効果的に活用して成果を上げている。自転車乗車時のヘルメット装着努力義務化について広くPRしてほしい。交通安全ありがとう運動については、これからも一貫して頑張してほしい。

4 鶴岡市西目地内で発生した土砂災害に関する警察措置について

鶴岡市西目地内で発生した土砂災害に関する警察措置について報告があった。

委員のコメント

- 厳しい環境の中における現場対応に感謝する。訓練が活かされていた。災害危険箇所の点検や雨量が増加した際の警戒について教訓としなければならない。
- これからも思わぬ災害の発生による出動要請があり得る。作業中の二次災害に配意しながら、訓練を生かして実力を存分に発揮してほしい。
- 年末年始の任務完遂、しかも消防、自衛隊と連携しての現場活動は見事であった。今後も地道な訓練と装備資器材の整備による現場対応力の向上を図ってほしい。